

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																														
北海道どうぶつ・医療専門学校		平成1年12月28日		末吉 良任		〒 060-0042 (住所) 札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2811																														
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																														
学校法人北海道安達学園		平成1年11月28日		安達 保敏		〒 060-0042 (住所) 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600																														
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																														
商業実務	商業実務専門課程	愛玩動物看護学科		令和5(2023)年度	-	-																														
学科の目的	医療知識と思いやりに満ちた愛玩動物看護師を目指す。愛玩動物看護師は、獣医師をサポートするための獣医学的知識に加え、飼い主さまと動物に対するケアも同時に求められます。この学科では、学内犬&猫との実習を通して動物医療の基礎知識と技術を身につけ、飼い主さまや動物たちの心に寄り添う動物看護業務のエキスパートを育成します。																																			
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	教育内容: 現役の獣医師、愛玩動物看護師の先生による実践に基づいた授業で国家資格取得を目指します。学内に動物病院を再現した最新の施設・設備があり、年間10回以上手術を実施。学内にいながら動物病院と同じ環境で学べます。学内犬&猫たちとふれあい、しつけやトリミング、健康管理を学びます。 取得可能な資格: 国家資格 愛玩動物看護師、HAG認定トリマーライセンス、愛玩動物飼養管理士、動物愛護社会化検定、損害保険募集人試験など																																			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																												
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	2,672 単位時間 - 単位	1,334 単位時間 - 単位	0 単位時間 - 単位	1,338 単位時間 - 単位	0 単位時間 - 単位	0 単位時間 - 単位																												
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率																															
270人	207人	0人		0%	4%																															
就職等の状況	<p>■卒業者数(C) : 63 人</p> <p>■就職希望者数(D) : 56 人</p> <p>■就職者数(E) : 56 人</p> <p>■地元就職者数(F) : 51 人</p> <p>■就職率(E/D) : 100 %</p> <p>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 91 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 89 %</p> <p>■進学者数 : 0 人</p> <p>■その他 : -</p> <p>(令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) 動物病院への業界就職、ピッコロ動物病院、みどりがおか動物病院、羊ヶ丘どうぶつ病院、きたさつぼろ動物病院、高橋動物病院、イオンペット、ジョイフルエーケー他</p>																																			
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: - 受審年月: - 評価結果を掲載したホームページURL: -</p>																																			
当該学科のホームページURL	https://hdi.ac.jp/pet/course/animal-nursing/																																			
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>2,672 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>66 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>66 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>66 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>180 単位時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総単位数</td><td>- 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td><td>- 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>- 単位</td></tr> <tr><td>うち必修単位数</td><td>- 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td><td>- 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>- 単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>- 単位</td></tr> </table>								総授業時数	2,672 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	66 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	66 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	66 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	180 単位時間	総単位数	- 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	- 単位	うち企業等と連携した演習の単位数	- 単位	うち必修単位数	- 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	- 単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	- 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	- 単位
総授業時数	2,672 単位時間																																			
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	66 単位時間																																			
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																			
うち必修授業時数	66 単位時間																																			
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	66 単位時間																																			
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																																			
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	180 単位時間																																			
総単位数	- 単位																																			
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	- 単位																																			
うち企業等と連携した演習の単位数	- 単位																																			
うち必修単位数	- 単位																																			
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	- 単位																																			
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	- 単位																																			
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	- 単位																																			
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</p> <p>7人</p>								① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	5人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	4人	計	11人																
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	5人																																			
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2人																																			
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																			
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																			
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	4人																																			
計	11人																																			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
学内犬&猫との実習を通して動物医療の基礎知識と技術や、飼い主さまや動物たちの心に寄り添う動物看護業務の教育プログラムの教育編成をする。また、獣医師や業界関係者と連携し、意見を反映しながらカリキュラム・授業内容の改善に努める。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成にあたり、第三者の意見を求める教育課程編成委員会を設置し、①就職実績など教育成果、②カリキュラム、③教育環境・教材など、について審議。教育効果検証の場として位置付け、充実と改善に努める。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
吉住 憲広	全日本訓練士連合協会北海道訓練士会	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年更新)	①
森 有佳理	DOG SALON 1+5	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年更新)	③
本間 裕也	ジョイフルエーカー	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年更新)	③
安達 敏亮	北海道どうぶつ・医療専門学校 学校長代理	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年更新)	—
東 香織	北海道どうぶつ・医療専門学校 学科長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年更新)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年6月10日 13:15～14:30

第2回 令和7年1月20日 13:15～14:45

R7年度第1回 令和7年6月9日 13:30～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ・カリキュラムの改善1(一部コースで実施していた科目を全コースに展開)
- ・カリキュラムの改善2(グループ校で実施している科目を新規導入)
- ・施設設備のリニューアル案(新校舎の施設について意見を採用)

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

インターンシップ(企業研修)や企業からの授業を通し、「現場の実践力と飼育管理力を備え、人と動物との絆を高める社会人の育成」に取り組んでいく

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

専門分野の企業・業界団体などから指導講師が参画して①教材選定・科目実施方法・評価方法の設計、②授業の実施、③学校と連携して学生の評価、を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
しつけ基礎 動物愛護・適正飼養実習	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	しつけの基礎について実習を通じて学び身に付ける	nao dogs Harmony
人と動物の関係学・動物生活環境学	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	人と動物の調和に関わることを学ぶ。人とペットの共生のために必要な知識を理解する。	札幌動物行動クリニック
動物行動学	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	札幌動物行動クリニック

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員規則(教員マニュアル)の教職員研修に基づき、教職員の業務に係わる必要な知識、技能、資質などの向上を図るため、年2回以上教職員の資質に応じた研修計画を策定し、校内外で催される研修を受ける機会を学園として認め、奨励する。	
(2) 研修等の実績	
① 専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: 職業実践専門課程に係る研修会	連携企業等: 認定特定非営利活動法人動物愛護社会科推進協会
期間: R6年4月16日	対象: 教職員
内容 交配から妊娠、出産 仔犬の健やかな育て方	
研修名: 職業実践専門課程に係る研修会	連携企業等: アニコムパフェ株式会社
期間: R6年12月5日	対象: 教職員
内容 歯周病は万病の元 口腔ケアの重要性	
② 指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会	連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校 教員能力認定委員会
期間: R6年7月22日	対象: 教職員
内容 「大学における障害学生支援～合理的配慮を中心に」 北海道大学学生相談総合センター 准教授	
研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会	連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校 教員能力認定委員会
期間: R6年12月19日	対象: 教職員
内容 「つながり高め合うこれからの学び」 加賀 千登世 氏プランナー・コピーライター	
(3) 研修等の計画	
① 専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: 職業実践専門課程に係る研修会	連携企業等: ベネッセグループ株式会社進研アド
期間: R7年8月	対象: 教職員
内容 教育目標の達成に向けた入学前からの指導体制づくり	
② 指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会	連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校 教員能力認定委員会
期間: R7年8月1日	対象: 教職員
内容 変化する高校生の理解と専門学校教育の展開～社会人基礎力の育成を目指して～ 渡邊 祐美子氏(吉田学園校長)	
研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会	連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校 教員能力認定委員会
期間: R7年12月予定	対象: 教職員
内容 指導力等を修得・向上する内容予定	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会は学校法人北海道安達学園に位置付け、本法人の各学校に関係の深い企業等関連の方々を中心に、自己評価を基にご意見等を幅広くお聞きして、今後の教育活動や学校運営に反映させるべく学校関係者評価を実施する

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1-1理念・目的・育成人材像は定められているか 他2項目
(2)学校運営	2-1運営方針は定められているか 他5項目
(3)教育活動	3-1各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 他9項目
(4)学修成果	4-1就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られている 他3項目
(5)学生支援	5-1就職関する体制は整備されているか 他7項目
(6)教育環境	6-1施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 他2項目
(7)学生の受入れ募集	7-1学生募集活動は、適正に行われているか 他3項目
(8)財務	8-1中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 他3項目
(9)法令等の遵守	9-1法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 他3項目
(10)社会貢献・地域貢献	10-1学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会実施の意見として、自己評価に基づくこと了承。
職業実践専門課程が一般に認知されていないのではないかと意見が挙がった。職業実践専門課程が広く一般に浸透するよう学校として実績を上げ、情報発信していくこととした。愛玩動物看護学科については、ボランティア活動を通じ、犬とのコミュニケーション、社会貢献活動を強化して行くことの意見を反映して行く。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
菅原 耕治	北海道デザイン協議会	令和7年4月1日～令和8年3月31日 1年更新	団体
松倉 大樹	株式会社きしだ Studio BACU	令和7年4月1日～令和8年3月31日 1年更新	企業
山田 芳之	株式会社宿屋ネットワーク	令和7年4月1日～令和8年3月31日 1年更新	企業
一條 實	株式会社カメラのカネミチ	令和7年4月1日～令和8年3月31日 1年更新	企業
吉住 憲広	全日本訓練士連合協会北海道訓練士会	令和7年4月1日～令和8年3月31日 1年更新	団体
本間 裕也	ジョイフルエーケー	令和7年4月1日～令和8年3月31日 1年更新	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.smg.ac.jp/td/information/>

公表時期: 令和7年7月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページなどで情報提供を積極的に行い、学校が設定する情報項目に基づき、学校関係者へ幅広く情報を提供し、理解・評価を推進し職業実践教育の質の更なる向上を図る

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・基本情報 ・開校の目的 ・沿革 ・教育方針
(2) 各学科等の教育	・定員 ・各学科 教育理念・教育方針・教育内容(カリキュラム・目指す資格)
(3) 教職員	・教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育への取り組み ・実習・実技、企業連携等の紹介(インター)
(5) 様々な教育活動・教育環境	・校外実習 ・校外見学 ・学校設備状況 ・サークル活動等 ・研修
(6) 学生の生活支援	・学生生活サポート
(7) 学生納付金・修学支援	・学費 ・学費サポートシステム
(8) 学校の財務	・事業計画 ・消費収支計算書
(9) 学校評価	・自己点検自己評価 ・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	・国際交流
(11) その他	・災害時非常時緊急時の対応

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.smg.ac.jp/td/information/>

公表時期: 令和7年7月1日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 愛玩動物看護学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			資格対策	愛玩動物飼養管理士1級の資格取得を目指す	2年前 後期	66	4	○			○			○	
2	○			接遇マナー	社会人としてのマナーを身につける	1年前 後期	66	4			○	○				○
3	○			社会実務	学校行事や郊外活動の準備などを通じ、コミュニケーションをとり就職後に役立てられるよう学ぶ。	1-3年 前後期	198	12			○	○	○	○		
4	○			探求学習	希望するコースに分かれて各分野を深掘りする。卒業規格作成又を通して学科を卒業するに値する人物かを判定する	3年前 後期	66	4	△		○	○	○	○		
5	○			飼育管理	学内犬の飼育管理を行うことで、健康管理、清掃意識、衛生管理などについて総合的に学ぶ。	1年前 後期	48	4			○	○			○	
6	○			しつけ基礎	しつけの基礎について実習を通じて学び身に付ける	1年前 後期	48	4			○	○	○			○
7	○			トリミング実習	犬の扱い方、グルーミング作業全般を慣れさせる。ペット業界において重要な掃除作業も習慣づけを行う。	1-2年 前後期	132	8			○	○			○	○
8	○			試験対策	愛玩動物看護師の国家試験に向けて、繰り返し問題を解き解説を聞き理解を深める	3年後 期	96	6	○		△	○			○	
9	○			パソコン演習	Word、Excel等の実務に必要なスキルを身につけていく。また、情報モラルや電子メールの扱いも学ぶ。	3年前 期	34	2			○	○			○	
10	○			グルーミング学	犬の扱い方、グルーミング作業全般を慣れさせる。ペット業界において重要な掃除作業も習慣づけを行う。	1-2年 前後期	116	8			○	○			○	○
11	○			動物形態機能学	動物の体の構造と機能を理解する	1年前 期-2 年後 期	120	8	○			○				○
12	○			動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。	3年前 期	30	2	○			○				○
13	○			動物病理学	動物の体の構造と機能を理解する	3年後 期	30	2	○			○				○
14	○			内科動物看護学	動物の臨床看護に必要な知識を修得する	1年前 後期、3 年前 期	90	6	○			○				○
15	○			外科動物看護学	動物の臨床看護に必要な知識を修得する	2年前 後期	60	4	○			○				○

(商業実務専門課程 愛玩動物看護学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
16	○			動物薬理学	疾病の成り立ちと回復の促進に寄与することを学ぶ	3年前後期	60	4	○			○			○	
17	○			動物感染症学	疾病の成り立ちと回復の促進に寄与することを学ぶ	2年前期-3年前期	90	6	○			○		○		
18	○			動物臨床栄養学	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方など栄養学を修得する。	2年前期、3年前期	60	4	○			○			○	
19	○			動物看護関連法規	動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。	3年後期	16	2	○			○			○	
20	○			動物愛護・適正飼養関連法規	人と動物の調和に関わることを学ぶ	3年後期	16	2	○			○			○	
21	○			公衆衛生学	人と動物の調和に関わることを学ぶ	1年前後期	60	4	○			○			○	
22	○			人と動物の関係学	人と動物の調和に関わることを学ぶ	1年後期、3年後期	30	4	○		△	○			○	○
23	○			動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	2年前期	30	2	○		△	○			○	○
24	○			生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉(アニマルウェルフェア)について学ぶ。	3年後期	30	2	○			○			○	
25	○			比較動物学	様々な動物の特性と人との関わりを理解する	3年前後期	60	4	○			○		○	○	
26	○			愛玩動物学	愛玩動物について理解する	1年前期、2年後期	60	2	○			○			○	
27	○			適正飼養指導論	適正飼養指導について理解し、愛玩動物飼養管理士の2級の取得と動物愛護社会化検定の合格を目指す	1年前後期	60	2	○			○			○	
28	○			動物生活環境学	人とペットの共生のために必要な知識を理解する	1年後期、2年前期	30	4	○		△	○			○	○
29	○			ペット関連産業概論	人とペットの共生のために必要な知識を理解する	2年前期	30	2	○			○		○		
30	○			動物臨床看護学(各論)	動物の臨床看護に必要な知識を修得する	1年後期-3年前期	120	8	○			○			○	

(商業実務専門課程 愛玩動物看護学科)																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			動物臨床看護学(総論)	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	3年後期	30	2	○			○			○	
	○			動物看護学概論	人と動物の調和に関わることを学ぶ	1年後期	30	2	○			○			○	
	○			動物医療コミュニケーション	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。	2年前期	30	2			○	○			○	
	○			動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	1年前期	30	2			○	○			○	
	○			内科動物看護学実習	内科診療の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	1年前後期 3年前後期	120	8			○	○			○	○
	○			動物臨床検査学実習	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。	2年前後期	60	4			○	○			○	
	○			動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。	2年前期	30	2	○			○			○	
	○			外科動物看護学実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得する。	2年後期-3年後期	90	6			○	○			○	
	○			動物愛護・適正飼養実習	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正使用額に関連した科目で学んだ知識の実践力を修得する。	1年前後期	60	4			○	○	○	○	○	○
	○			動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	3年前後期	60	4			○	○			○	
	○			動物看護総合実習	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。実務能力を修得する。	1年後期-3年後期	180	12			○	○			○	○
合計						41	科目	2,672 単位(単位時間)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： ①85%以上の単位取得及び必修科目の取得②総出席率90%以上③卒業課題の提出④学費などの完納	1学年の学期区分	2期
履修方法： 学校が定める時間割の通り	1学期の授業期間	前期17週 後期16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。